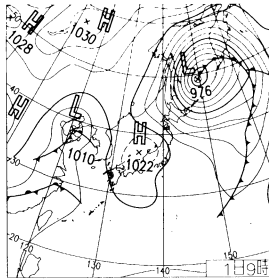


# 日々の天気図

—No. 27

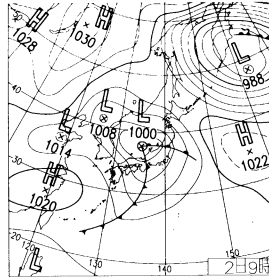
2004年 4月

・19日、石垣島伊原間で1時間に69mmの非常に激しい雨  
 ・20日～21日、発達した低気圧により北日本で強風、難自明で強風被害  
 ・27日～28日、日本海の低気圧により、東～西日本太平洋側中心に大雨、高知県土佐山田町で1時間69.0mm、伊豆半島・高知県等で総雨量200mm超、東京の最大瞬間風速32.2m/s。  
 (気象庁予報部予報課)



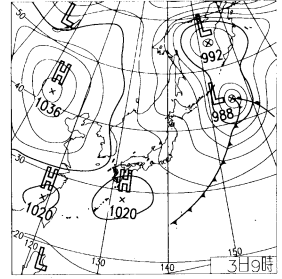
## 1日(木) 東北で桜開花

千島近海で低気圧が発達し、北海道は雪、その他は全般に晴れるが、東シナ海から接近する低気圧により、九州や沖縄は夕方から雨。福島県小名浜で桜が開花。



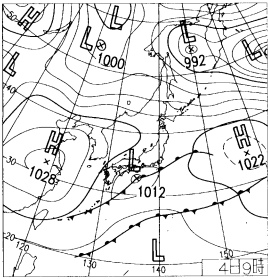
## 2日(金) 急速に天気回復

前線を伴った低気圧が速い速度で日本海を進み、夕方には東北地方を通過。前線通過後は急速に天気回復。東京では1時間に露点温度が19°C下がり、湿度は45%から11%に下降。



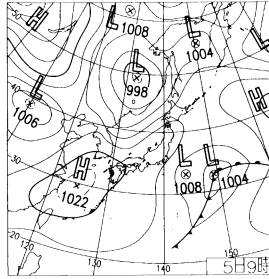
## 3日(土) 西日本で黄砂

上空の寒気が日本海に入り、東北～九州の日本海側や沖縄は曇りや雨。北海道や太平洋側は晴れ、西日本～南西諸島の広い範囲で黄砂を観測。四国～東海地方では桜が満開。



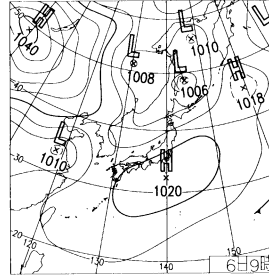
## 4日(日) 南岸低気圧東進

日本の南岸を低気圧が北東に進み、北日本を除き雨。午後には九州から晴れる。最高気温は東・西日本を中心に平年より3～10°C低く、甲信の一部では雪やみぞれ。



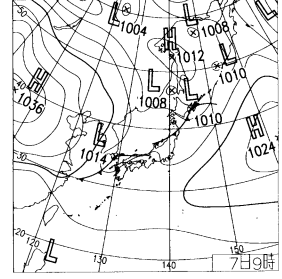
## 5日(月) 台風第1号発生

移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れ。放射冷却や寒気の影響で最低気温は全国的に低く、那覇は平年より4.5°C低い真冬の13.4°C。カロリン諸島で台風第1号が発生。



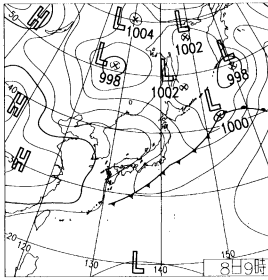
## 6日(火) 全国的に暖かい

南高北低の気圧配置で、全国的に概ね晴れ。最高気温は全般に平年より高く、北陸・北日本では5月中旬並の暖かさ。山形の最高気温は平年より8.5°C高い21.8°C。



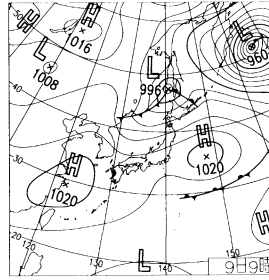
## 7日(水) 仙台で桜開花

低気圧や前線の影響で日本海側は雨。その他は晴れや曇り。南よりの風で全国的に気温が上がる。朝から晴れた仙台では平年より5日早く桜が開花。



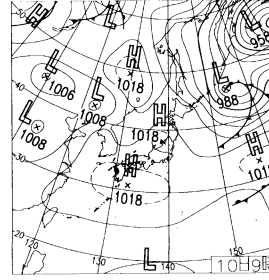
## 8日(木) 平年並の気温へ

寒冷前線が未明に東・西日本を通過。その後は大陸から張り出す高気圧に覆われる。寒気の影響で北海道は雪、南西諸島は曇りや雨。最高気温は全国的に平年並か平年より低い。



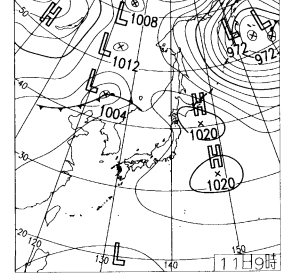
## 9日(金) 新潟で桜満開

低気圧の通過により北海道は雨。沖縄は寒気の影響で曇り。その他は高気圧に広く覆われ概ね快晴。山形県酒田市で桜が開花し、開花は東北地方を北上。新潟では桜が満開。



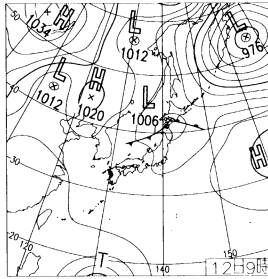
## 10日(土) 各地で夏日

移動性高気圧に広く覆われ、全国的に晴れ。北海道オホーツク海側は雪。東・西日本を中心に気温が上昇し、所々で夏日。最高気温は岐阜27.0°C、前橋26.9°C。



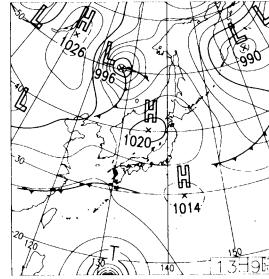
## 11日(日) 全国的に薄曇り

高気圧は日本の東海上に遠ざかり、日本付近には寒気を伴う上空の気圧の谷が接近。このため各地で上・中層雲が広がり、薄曇り。九州の一部では雨。



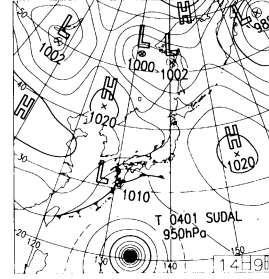
## 12日(月) 南極観測船「しらせ」帰国

低気圧の通過により、北海道は曇りや雨。その他は高気圧に覆われて概ね晴れ。関東地方は気温が上がり、今年初めてのスモッグ気象情報。南極から「しらせ」帰国。



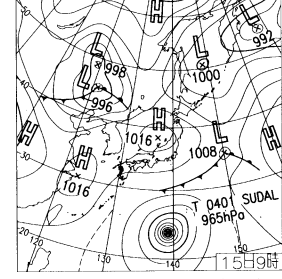
## 13日(火) 関東は肌寒い一日

九州・四国は前線の影響で曇りや雨。その他は日本海の高気圧に覆われて概ね晴れるが、関東は冷たい北東風により曇り。関東の日中の気温は昨日に比べ10～15°C低く肌寒い一日。



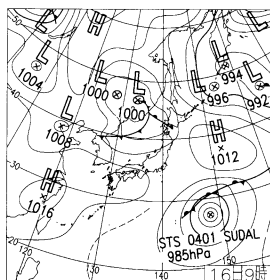
## 14日(水) 北海道気温上昇

高気圧は東北の東海上に進み、九州南の前線上に低気圧が発生。北海道が晴れ他は曇りや雨。関東～九州は雨。北海道には南風入り、帯広の最高気温16.9°Cは東京・大阪より高い。



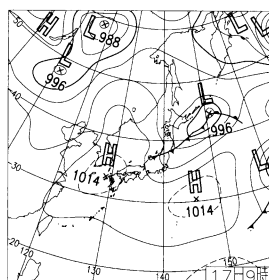
## 15日(木) 東京の空に暈(かさ)

日本海の移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れて気温は高め。九州北部の所々で夏日。台風第1号は小笠原諸島を通過。東京で、大気中の水晶が光を屈折して生じる暈現象。



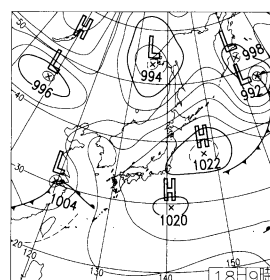
### 16日(金)台風低化

台風第1号は北東進し、21時に温帯低気圧となる。北海道北部は寒気を伴った低気圧の影響で雨や雪、その他は高圧部に覆われ、概ね晴れ。沖繩の久米島で全国初のホテル初見。



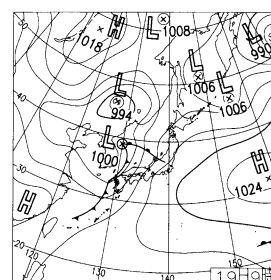
### 17日(土)静岡で全国初の真夏日

北海道は寒気により雨や雪、その他は高気圧に覆われ晴れ。静岡県清水市・静岡市では30°Cを越す真夏日。東京は今季初の夏日。東・西日本の広い範囲で黄砂を観測。



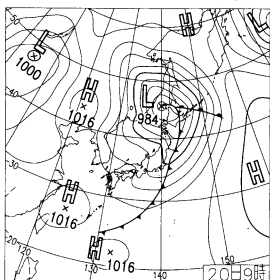
### 18日(日)青森で桜が開花

気圧の谷の影響で九州は雨、その他は晴れ。日本海側を中心に気温が上昇し、兵庫県豊岡市の最高気温は31.6°C。青森で桜開花。今季の桜開花は3/17に始まり約1か月で青森へ。



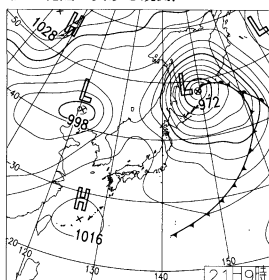
### 19日(月)寒冷前線通過で大荒れ

低気圧が発達しながら日本海を北東進し、寒冷前線が日本列島を東進。前線の通過に伴い室戸岬では最大風速23.4 m/sの暴風。石垣島の伊原間では90 mm/hの猛烈な雨。



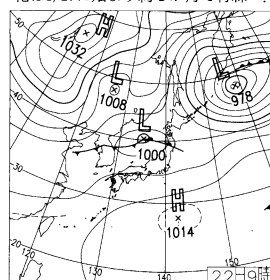
### 20日(火)仙台で瞬間風速33.3 m/s

日本海の低気圧が発達しながらオホーツク海に進み、北日本は雨で風が強い。東日本～南西諸島は日中晴れて気温上昇。静岡の最高気温は4月の極値を更新する31.0°C。



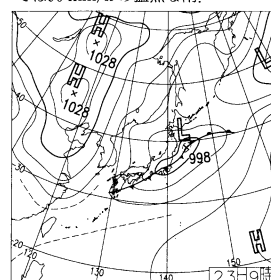
### 21日(水)羅臼で強風被害

発達した低気圧がオホーツク海をゆっくりと東北東進し、北日本の強風は次第に弱まる。北海道羅臼町では局地的な強風害。北海道の一部で雨や雪の他は、全国的に概ね快晴。



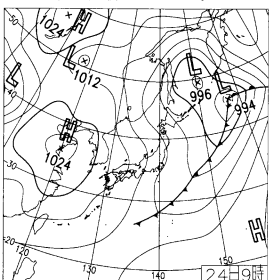
### 22日(木)各地で最高気温極値更新

低気圧が日本海を東進。東北部や北海道は曇りや雨、その他は晴れ。南から暖かい空気が入り、東・西日本を中心に気温が上がる。東京など各地で4月の最高気温を更新。



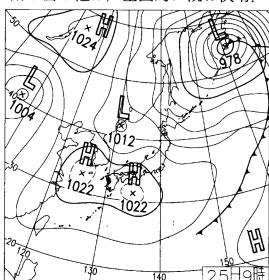
### 23日(金)日本海側で寒暖大差

寒冷前線が通過し寒気が入り、日本海側や南西諸島は雨。東北南部～東日本、山陰の最高気温は前日より約10°C低く、新潟県高田市では13.9°C低い15.5°C。



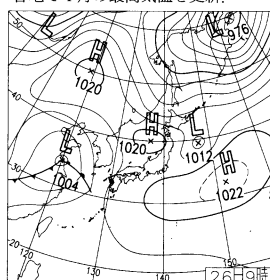
### 24日(土)北日本「寒の戻り」

冬型の気圧配置。北日本の上空約5500 mには-33°C以下の寒気が入り、北海道の日本海側や東北～北陸の山沿いで雪。朝9時までの降雪量は青森県酸ヶ湯で19 cm。



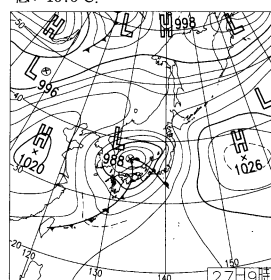
### 25日(日)全国的に晴れて気温低め

北日本の一部は寒気による雪や雨が残るが、その他は日本の南の高気圧に覆われて、ほぼ全国的に晴れ。北・東日本の最高気温は、平年より3～8°C低く、4月上旬並。



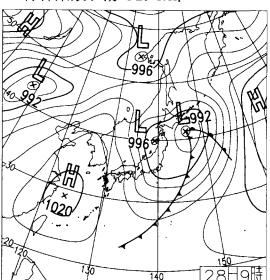
### 26日(月)西日本で大雨

上海付近の低気圧が発達しながら東北東進。日中はほぼ全国的に晴れるが、西日本は午後から雨。長崎県厳原町では48.5 mm/hの激しい雨を伴い日雨量165 mm。函館で桜が開花。



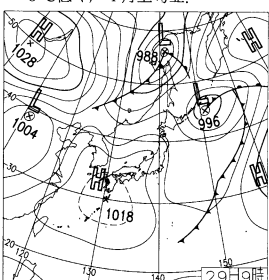
### 27日(火)西・東日本大荒れ

日本海の低気圧により全国的に雨。西・東日本は風・雨ともに強く、室戸岬の最大瞬間風速43.7 m/s。高知県土佐山田町繁藤では4月の極値を更新する69.0 mm/hの非常に激しい雨。



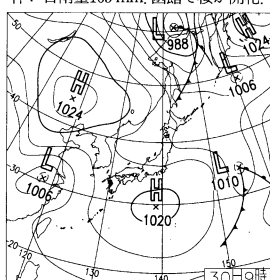
### 28日(水)関東南部で雷雨

日本の上空約5500 mに-20°C以下の寒気が入り、日本海側や北日本は雨。日中は関東～東海～沖縄で晴れるが、最高気温は全国的に平年より3～7°C低い。関東南部では一時雷雨。



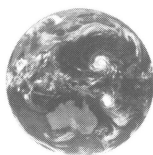
### 29日(木)爽やかなGW初日

日本付近は移動性の高気圧に広く覆われ、ほぼ全国的に快晴。正午の湿度は多くの所で40%以下となり、爽やかなGW初日。東京の最小湿度9%は4月の1位タイ。



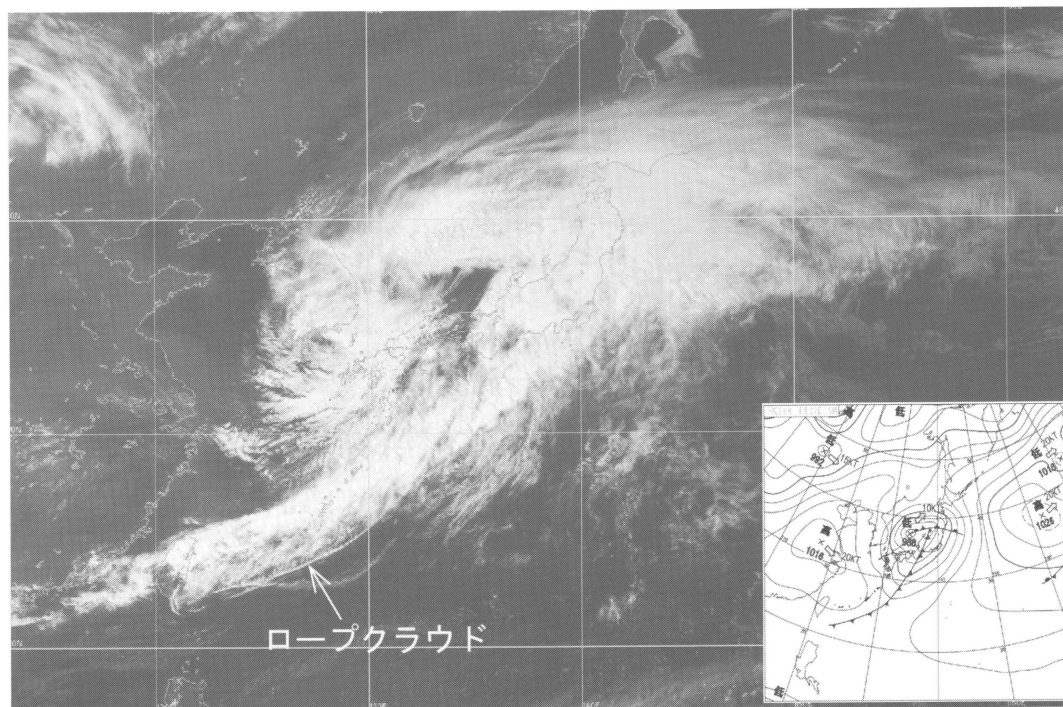
### 30日(金)北・東日本初夏の陽気

上空の気圧の谷の影響で全国的に曇るが、関東～東北は日中晴れ。南から暖かい空気が入った東北地方では所々で夏日。仙台の最高気温は7月上旬並で、野球部員が熱中症。



## 今月の気象衛星画像—2004年4月

### 春の嵐を呼ぶ日本海低気圧



2004年4月27日15時の可視画像と速報天気図

日本海で発生または発達した低気圧を日本海低気圧という。春は一年の中で最も日本海低気圧が急速に発達しやすい。発達した日本海低気圧は暴風雨雪のほか、寒冷前線通過時に突風や落雷をもたらす。また、南からの強風で気温が上がり、雪崩や融雪洪水、フェーン現象による大火などの被害が発生することがある。時として大きな災害を引き起こしてきた「春一番」や「メイストーム」も、殆どが発達した日本海低気圧によるものである。

4月27日、発達した日本海低気圧と前線の影響で日本列島は全国的に激しい雨や暴風に見舞われた。写真は当日15時の可視画像である。速報天気図では、日本海中部に低気圧があり、佐渡島の北に閉塞点が解析さ

れている。閉塞点から寒冷前線が台湾の南東まで延びており、一部、南西諸島南方のロープクラウド\*が寒冷前線に対応している。

この日は全国的に強風が吹き荒れ、建造物の破損や強風で転倒し負傷者が出るなど各地で被害が発生、空・海の便の欠航や道路・橋の通行止めなど交通網も混乱した。東京では4月としては観測史上2番目となる最大瞬間風速32.2 m/sを観測した。

(気象衛星センター)

\*ロープクラウド：幅10～30 km程度の細くて長い積雲の雲列のこと。主に海上で前線性雲バンドの暖域側に沿ってみられ、この雲列を挟んで風・温度が不連続に変化するため寒冷前線に対応することが多い。